

子育て現場から

スマホと親子関係と自立力と...

本題に入る前に...

- ポケモンGOについて
子どもの頃にポケモンにハマっていた子が大人になって今楽しんでいるように思われる
その大人が親の場合、子どもを巻き込んで親子でポケモンを楽しんでいるケースが多い
- ゲームに関して今子どもの世界では
ツムツム：ハートをやり取りすることでトラブル
モンスト：ログインするともらえる特典
がいろいろと問題を起こしている？
- 1つ事例を挙げると
小学生5年生。夏休み中ゲーム漬け。夏休みの終わりにはかなりの体重減少
ほとんど眠らず、食わず、飲まず、トイレに行かず・・・過覚醒状態が続く
(非行少年や引きこもりも同じメカニズムで生活が崩れていく)
2学期から不登校

子育て現場でみたスマホ利用

- ・微笑ましい場面

やや混雑した地下鉄車内。3歳くらいの男児が母親と座っている。母親がタブレットを取り出して子どもに迷路の問題を一緒にさせている。

子どもはクリアすると嬉しそうに次々にチャレンジしている。母の寄り添いも良かった。10分程続き下車駅が近づくと促して準備。とってもいい子で降りて行った。いつもなのか気になり聞いてみる。

→「以前はじっとしていなくて大変で、電車に乗って移動は大変だった。」
ギャップにビックリ！

- ・恐れていたことが起こった

親と子のグループワークにて（虐待予防事業）

最近の傾向：子育てに困るとネットで解消する母が多い。間違っただけの情報や自分に都合の良い情報を選んで子育てしている。

子どもに関心がうすく、動かない、追いかけない、口のみ動かすか叱らない。
おんぶができない母親としがみつかない子ども。

2歳くらいの男児。いつもタブレットやスマホに子守りをさせている母。たまたま母がトイレに行っている間に泣き出す。保健師が絵本を与え語りかける。子どもの取った行動が…。
以前見た現象が実際に起こった！

親のスマホ利用の影響～"ケータイ"の頃から懸念されていた事象～

子どもが母親に話しかけてくるが、母親はケータイを見ながら返事している
子どもは何だか不満そうな表情でその場から離れがたさを醸し出している
→コミュニケーション、愛着、社会性など発達において何かしらの影響があるのでは？

ケータイの頃は片手で片耳で対応しながらも、まだチラ見や身体を動かすなど動きが見られた
スマホになり両手がふさがり画面に集中し、子どもとの距離や親密度が下がった？
ますます子どもにとっては疑問や不安が...？

* 子育て中の親がスマホに没頭することの影響

親への影響

- ・ スマホがいつも気になり触っていないとイライラする
- ・ 家事がおろそかになる
- ・ **子どもの相手をしなくなり邪魔されると怒る**
- ・ **スマホを触りながら他のことをするため危険が多い**
- ・ 身体の不調（睡眠、視力、ストレートネック、老け顔...）

赤ちゃんへの影響

- ・子どもに関わる時間が減る
スキンシップや会話が減る
- ・授乳、おむつ替え、離乳食など子どもの小さな変化に気づかない
- ・最初に良い関係を築く母とのアイコンタクトのあるコミュニケーションが取れない

→子どもに愛情を伝えるチャンスを捨てている

子どもの対人スキル(コミュニケーション力)が低くなる

社会性のベースが育たない

具体には...

離れられない、サイレントベビー（泣かない、無表情、視線が合わない）

発育不全

ぐずったり泣き止まない子にタブレットを与えておさめる

幼児への影響

- ・愛着の問題を抱えてしまう
4歳児の自立力への影響と自己不信感

→**自立力が育たない、集中力や意欲の低下、
身体への影響**

* スマホが子どもに与える影響～悪いもの編～

成長（からだ）への影響

- ・ 視力の低下
- ・ 睡眠障害と集中力の低下
- ・ 依存

発達（こころ）への影響

- ・ 言葉の発達の遅れ
発達における言語獲得の時期と方法
0～3歳、聴いて真似して返しがあって

- ・ 社会性や感受性の低下

コミュニケーションの仕組み

【（入力）→（処理）→（出力）】に認知と感情が関与して経験値となる

※いろんな報告が他にも...

スマホにハマる親ほど子どもを怒鳴っている
わざと親の気を引こうとする子どもたち

子育てから思春期へ

* 小学校の場合

ゲームを含めて、〈取り上げれば〉〈嫌な思いをさせれば〉ちゃんとするようになる...の思い込みで実践して親子トラブル。子どもの言動は悪化。親はさらに強固な態度...という悪循環。

→一方的に取り上げない。ゲームやケータイが悪いのではない。

取り上げ方をコントロールして親子関係の修復と生活力をつける
初期はうまくいくが、親がだんだんつぶしていくことが多い。

* 中学生の場合

母親からの相談で多いのが「スマホやゲームばかりしていて勉強しない」

中2男子（不登校傾向）の事例

母親から相談。「スマホ依存症です。だから学校に行かない。やめさせてください。」

子どもとも面談。両親の言動等は母親からの情報と一致。子どもの言い分も理解できる。

→親子面談にてスマホの使い方をコントロールしていくことを目標に両者が納得できる設定を模索。ポイントは子どもに考えさせ選ばせること。

本人頑張るも、両親の勝手な行動で再びモメる。

小中学生ケースにおける支援のポイントとして

子どもの認知の発達をベースに

- ・親にとって子どもを知るチャンス！
- ・子どもにとってコントロール力をつけるチャンス！

と捉えて支援を入れていく

それでもやめさせたい親とやめたくない（やめられない？）子どもとのバトルは続く。

※認知発達の観点

子どもの思考能力は10歳ぐらいから複雑なことが可能になるので、小学5年から対応を変える（メタ認知（自分で自分のことがわかる力）と抽象的な思考能力の発達）

余談ですが...

最近増えている困った問題行動

女子中学生がSNSで知り合った男性と同棲するケースはあったが、最近知り合った男性が女子中学生宅に住み込み、親（ほとんどが母子家庭）も認めている。

そして青年期

高校生の現場

最近の傾向としてネットゲームの問題が多くなってきた。
ただ多くがコントロールでき、会話もでき、引きこもるストレス？
一旦閉ざす時期はあるが、しばらくすると出てくる。
(もっと深刻なケースはつながってこない)

高校中退から若年無業者（～39歳）の若者の現場

引きこもりケースは大きく二極化

本人が来所

ネット問題を抱えるよりもそのほかの課題が大きい

親が来所

ネット依存状態であることが多い（しかも長期）

ここに至る要因や背景などわかりずらく支援が届きにくいのが現状

さいごに...

ポケベル→ケータイ→スマホ→タブレット問題
教育における様々な問題
虐待や母子保健（子育て）現場から見える問題
児童福祉（養護、非行、少年事件）ケースから見える問題
青少年育成施策での現場からの見える問題

4軸を複合的に重ね合わせていくと

大人のコミュニケーションの問題？

と

自立力の育みの問題？

自立という視点で発達をどう保障していくか！

そのための子育て支援、教育、福祉、医療、司法などとの連携